

イスラエルのための祈り イサク合意を覚えて

26年7月19日恵比寿BF



イサク合意とは



発足 今年4月

中心人物 アルゼンチンのミレイ大統領

2025年「ユダヤ人のノーベル賞」とも呼ばれるGenesis 賞を受賞。賞金の100万ドルを「イサク合意」の取り組みのために寄付。

二つの合意の比較: 正式な外交協定 vs 国際的な連携構想

	アブラハム合意 (2020)	イサク合意 (2026)
対象地域	中東 (アラブ4カ国)	中南米 (アルゼンチン主導で全域へ)
主要な仲介・主導国	米国によるトップダウンの仲介	アルゼンチン (ミレイ政権) による地域内からの牽引
コア目的	関係正常化と経済協力の構築	既存関係の劇的強化と反テロリズムにおける連帯
同盟の推進力	経済的・安全保障的実利	共通の価値観 (自由、民主主義) と反ユダヤ主義への対抗

経済・安保など実利的 外交協定(和解: 共通の祖先アブラハム) VS 「神の契約(アブラハム→イサク→ヤコブ)」を意識した和平構想

ミレイ大統領の考え方と背景にある中南米諸国の変化

23年にアルゼンチンの大統領に就任 これまでの政策から決別し、イスラエルを強く支持する国へと変化させている

就任初日からアルゼンチンを「歴史の正しい側」に置く決意(大使館のエルサレムへの移転: 自国の計画表明、中南米諸国に呼びかけ)

ブエノスアイレス・サミット開催。中南米諸国の親イスラエルの議員たち(14か国)が参加。イスラエルとの関係強化の為の連携

(背景) 中南米諸国において保守政権が勢いを増し、イスラエルや米国との関係を重視する国々が増えつつある

イスラエルのための祈り

「わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪うものをのろう。」

創世記12:3

ミレイ大統領のように 世界各国で イスラエルとの絆の重要性に気付く
指導者が多くおこされますように。

ユダヤ・キリスト教という共有された価値観に基づき誕生したイサク合意
が 主によって豊かに祝福されますように

私たちも神の栄光を現す器として 機会を与えられた時に「主に喜ばれ
る側」に自分を置くことができますように